

平成31(2019)年度当初予算総額は

97億5,227万円です



【内訳】

		(前年度比)
一般会計	70億4,824万円	(+4.7%)
特別会計	27億403万円	(+1.2%)
国民健康保険	18億800万円	(+2.3%)
後期高齢者医療	2億525万円	(+6.0%)
土地取得	441万円	(0%)
下水道	6億8,636万円	(▲2.7%)

※一般会計は30年度予算繰越分を含めると、79億2,655万円(前年度比+16.0%)

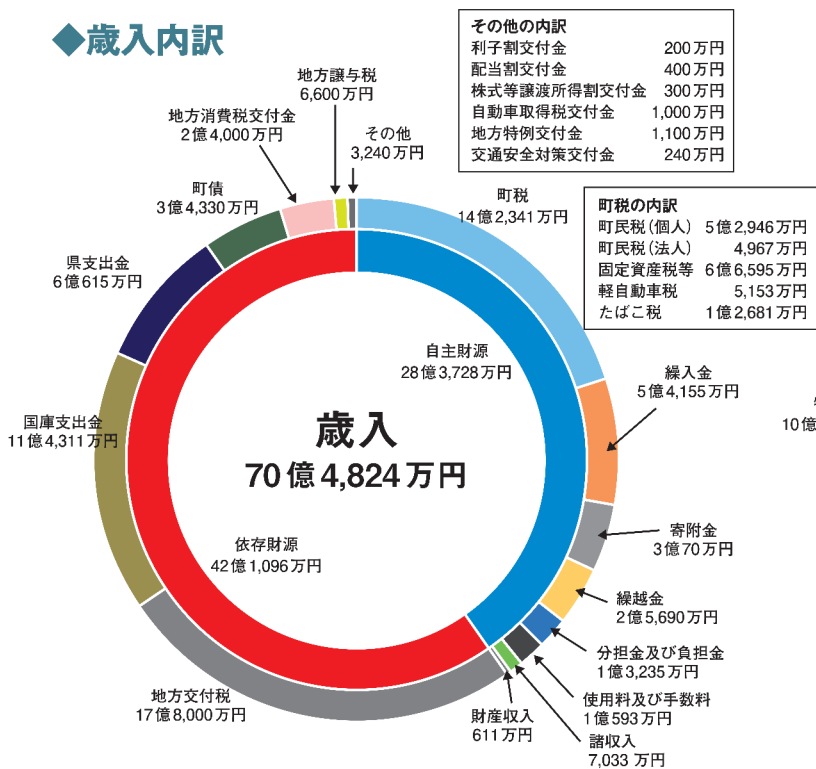


歳入 1年間に町に入るお金

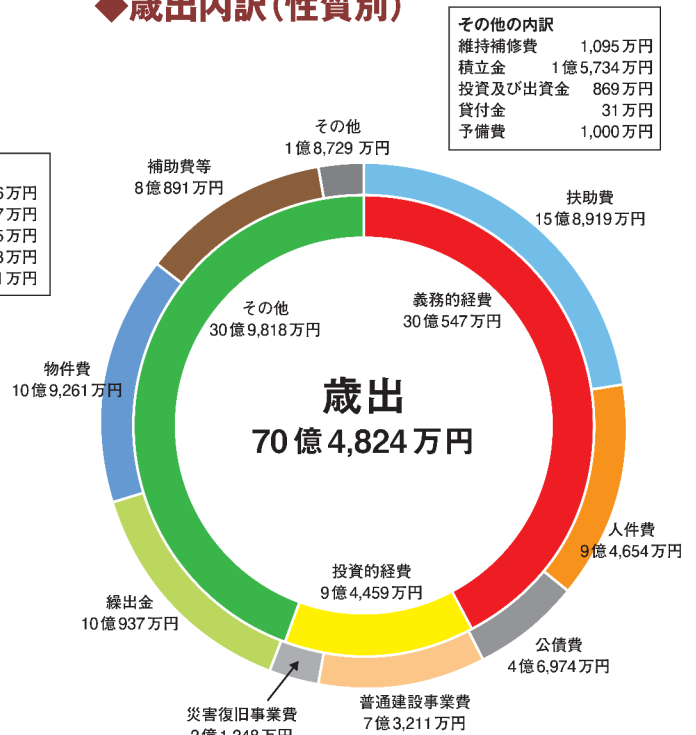
一般会計予算 70億4,824万円の内訳

1年間に町が支出するお金 **歳出**

◆歳入内訳



◆歳出内訳(性質別)



◆歳出(目的別) ()内は町民一人あたり内訳

民生費 社会・児童福祉、医療など 26億2,294万円 (167,461円)	総務費 行政運営、選挙、統計など 10億4,601万円 (66,782円)	土木費 道路、公園の整備・管理など 8億6,170万円 (55,015円)	教育費 教育、スポーツ振興など 7億1,440万円 (45,611円)	公債費 町債、借入金の元金利子返済 4億6,974万円 (29,990円)
衛生費 保健衛生、ごみ処理など 4億5,286万円 (28,913円)	農林水産業費 農業振興、農地整備など 3億4,313万円 (21,907円)	消防費 消防・防災など 2億2,150万円 (14,142円)	議会費 議会運営 7,920万円 (5,057円)	災害復旧費 災害復旧事業など 2億1,248万円 (13,566円)

その他(商工費、予備費等) 2,427万円 (1,550円)

※平成31(2019)年1月末現在の住民基本台帳人口15,663人で算定

まちの家計簿

町の一般会計予算を
年収400万円の世帯にとえると・・・



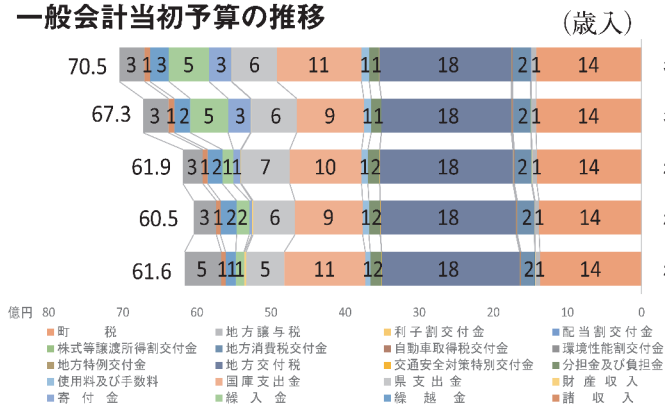
収入

給料(町税)	80万8千円
前年度より繰越 (繰越金)	14万6千円
不動産収入 (負担金・使用料・手数料)	13万5千円
財産売却(財産収入)	3千円
賞金、配当金(寄附金)	17万1千円
預金より引出し(繰入金)	30万7千円
その他収入(諸収入)	4万円
実家からの援助金 (交付税・交付金・国県支出金)	219万5千円
銀行等から借入(町債)	19万5千円
合計	400万円

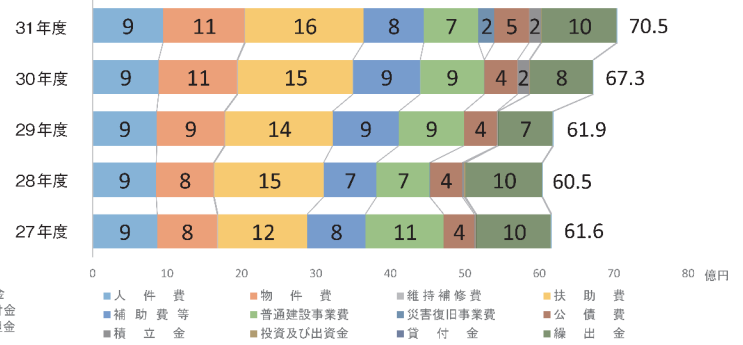
支出

医療費、養育費など(扶助費)	90万2千円
食費(人件費)	53万7千円
借金の返済(公債費)	26万7千円
親類への援助金(繰出金)	57万3千円
光熱水費、物品購入など (物件費)	62万円
自治会費、文化活動費など (負担金・補助金・出資金)	46万4千円
貯金(積立金)	8万9千円
自宅修繕、車購入など (維持補修・建設事業費)	42万2千円
その他の費用 (災害復旧事業費・予備費等)	12万6千円
合計	400万円

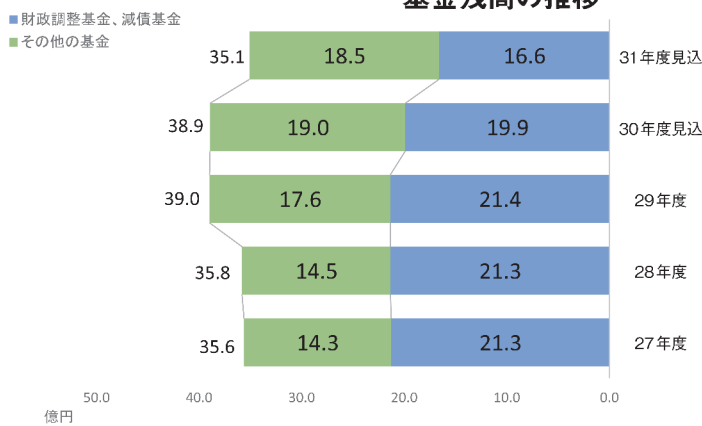
一般会計当初予算の推移



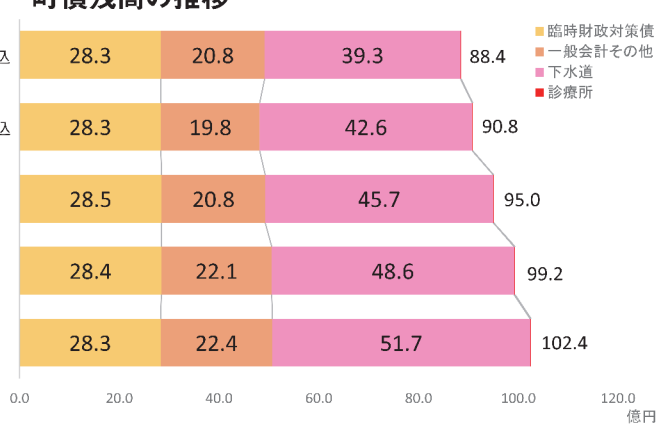
(歳出) 性質別



基金残高の推移



町債残高の推移



用語解説

歳入

- ・町税 町民税、固定資産税、町たばこ税、軽自動車税等
- ・地方交付税 国税の中から町の財政事情に応じて国から交付されるお金
- ・国県支出金 特定事業のために国や県が交付するお金
- ・繰入金 基金(積立金)の取り崩し及び特別会計からの繰入
- ・町債 建物の建設など大きな事業を行うために町が借入れるお金
- ・臨時財政対策債 地方交付税の減少等による歳入不足を補うために発行を認められた町債

歳出

- ・人件費 非常勤職員報酬、常勤職員給与と社会保険料等
- ・公債費 町債の元利返済にかかる費用
- ・扶助費 社会保障制度の一環で生活を維持するために支出する経費。児童手当、障害者自立支援費、各種医療給付費等
- ・普通建設事業費 道路、橋りょう、学校等の新增設事業費等
- ・災害復旧事業費 自然災害被害の復旧に要する経費
- ・物件費 光熱水費や物品購入、委託料等の消費的な経費
- ・補助費等 各種団体等への補助金、構成員等の割合に基づき負担する負担金等
- ・繰出金 特別会計に対して繰出すお金



新年度の町政と重要項目

施政方針と予算

3月町議会定例会冒頭において述べた「施政方針」の主な内容と平成31(2019)年度予算についてお知らせします。

早いもので、町長に就任して11年が経過し、3期目の任期も残り1年を切りました。

就任以来、自立したまちづくりに向け、徹底した行財政改革を行い、この間、41億1千万円余の地方債借入残高を削減する一方、12億6千万円余の基金を積み増しし、財政構造の弾力性を示す経常収支比率も平成23年度以降、県下で一番健全な数値を維持しています。町の財政健全化に道筋を付けるとともに、子育て支援や教育環境の充実をはじめ、スピード感を持って各種施策に取り組んできたところでございます。

平成30年度は、大刀洗小学校北校舎等大規模改修工事を除き、予定しておりました諸事業、諸施策も概ね順調に進捗しました。

お陰さまで、直近の人口動態では、昨年1月末と本年1月末の人口を比べますと63人の増となっており、大変嬉しく思っているところであります。

平成31年度の一般会計予算については、3期目の集大成として、昨年実施した町政懇談会での町民の皆様からのご意見も踏まえ、本年度策定中の「第5次大刀洗町総合計画」及び来年度5年目を迎えます「大刀洗よかまち創生プロジェクト」の各事業をさらに推進していくために必要な予算を計上し、総額70億4千8百万円余で、前年度当初予算と比較し

て3億1千8百万円余、率にして4.7%の増となっています。

まず歳入です。町税については、昨年度とほぼ同額の14億2千3百万円余を見込む一方、地方交付税については地方財政計画を考慮し、前年比3千万円増の17億8千万円を見込んでいます。

また、多くの皆様から応援いただきました「ふるさと応援寄附金」については、3億円を見込んでいます。

このほか、基金からの繰入金として約3千万円増の5億4千万円余を繰り入れています。

次に、歳出では、義務的経費のうち人件費が6.7%の増、扶助費は2.8%の増、公債費は5.0%の増となっています。

また、投資的経費のうち、普通建設事業費は15.2%の減の一方、災害復旧事業費は菅野橋の架け替え等に伴い、2億1千2百万円余の増となっています。

平成31(2019)年度に取り組む主な事業につきましては、下段以降に記載していますので、ご覧ください。

今後とも、健全財政を維持しながら、子育て支援や教育環境の充実を図るとともに、地域包括ケアシステムの構築など町民の皆様の健康づくりの推進や、地域コミュニティの活性化に取り組み、地域の特色を活かした魅力ある町づくりを、スピード感を持って積極的に進めてまいります。

このような事業に取り組みます



平成31(2019)年度から取り組む主な事業を第5次大刀洗町総合計画の基本目標に沿って紹介します。

1. 豊かなくらし

(快適、美しい、安心、賑わい)

○本郷駅送迎自動車待機所整備事業

1,000万円

(一般財源1,000万円)

本郷駅付近に駅利用者を送迎する自動車の待機所を整備し、利用者の利便性を図ります。

○西鉄路線バス北野線沿線事業

56万円

(一般財源56万円)

両筑苑で折り返しとなっている北野線について、大刀洗町内への路線延伸を西鉄と協議し、本年10月のダイヤ改正に合わせた実施を目指します。

○公共交通魅力化プロジェクト

408万円

(国補助204万円、一般財源204万円)

事業者や大学と連携し、鉄道駅のペイントやバスのラッピングといった、鉄道やバスの魅力を増す取り組みを行い発信することで、町内外の利用者増加を図ります。

○校区センタートイレ改修工事

3,190万円

(地方債3,190万円)

災害時指定避難所でもあるコミュニティ

ティセンタートイレ洋式化、多目的トイレ増設工事を行います。

○**廃プラスチック資源化事業**

284万円

(一般財源284万円)

焼却処分をしている廃プラスチック(ブラマークが表示されていないプラスチック製品)を無料回収し、再資源化(油化)すること、ごみ削減を図ります。

○**地域優良賃貸住宅(富多地区)建設事業**

1億7,141万円

(国補助1億7,100万円、一般財源41万円)

町の活性化の源となる生産年齢人口の増加を図るため、PFI手法による定住促進住宅を整備し、移住・定住促進を図ります。

○**菅野橋災害復旧事業**

2億1,200万円

(国補助1億3,440万円、地方債6,080万円、一般財源1,680万円)



平成30年7月豪雨により被災した、町道

橋である菅野橋の早期復旧を目指し、復旧事業を行います。

○**緊急告知防災ラジオ整備事業**

907万円

(諸収入120万円、一般財源787万円)

行政区長や民生委員等の自宅や校区センター等の公共施設に緊急告知防災ラジオを整備し、緊急情報伝達の確保を図ります。

2. **輝くひと**

(健やか、温かい、学び)

○**手話通訳設置事業**

256万円

(国補助96万円、一般財源160万円)

手話通訳者を役場に配置し、聴覚障がい等により意思疎通に支障のある障がい者等の日常生活相談や手続き等を支援します。

○**健康体操教室事業**

701万円

(諸収入637万円、一般財源64万円)

概ね65歳以上の方を対象に、各校区センター等を利用した健康体操教室を開催します。また、男性健康体操教室を新設し、健康増進を図ります。

○**子ども子育て支援事業計画策定事業**

265万円

(一般財源265万円)

平成30年度に実施したニーズ調査を踏まえ、子ども・子育て会議での協議を行い、第2期子ども・子育て支援事業計画を策定します。

○**菊池学童保育所増設事業**

2,449万円

(国補助1,543万円、

県補助386万円、一般財源520万円)

学童保育所の入所児童数増加に対応するため、既存施設の隣に学童保育所を増設します。



○**少年数学級導入事業**

2,743万円

(一般財源2,743万円)

小中学校に常勤講師を配置してクラスを増設し、一人ひとりに応じたきめ細かな指導を充実します。

○**人権・同和問題町民意識調査事業**

338万円

(一般財源338万円)

同和問題を中心とした人権問題に対する町民の意識を把握し、教育・啓発事業を推進するにあたっての基礎資料として活用するための意識調査を行います。

○**大刀洗中学校南校舎大規模改修事業**

1億2,330万円

(国補助1,813万円、地方債

2,710万円、一般財源7,807万円)

大刀洗中

学校の南校舎が建築後30年以上経過しているため、生徒が安全で快適な学校生活を送れるよう校舎内部を改修します。



3. **繋がるまち**

(協働、拓く)

○**住民参加型政策提言事業**

280万円

(一般財源280万円)

町長の諮問機関として設置した住民協議会で、職員からの情報提供を基に、委員が課題解決に向けた政策提言を行うことで、行政への住民参加を図ります。

○**公共施設個別施設計画策定事業**

545万円

(一般財源545万円)

公共施設の修繕・更新時期の分散や財政負担の平準化を図り、公共施設の長寿命化を推進するための中長期計画を策定します。